

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	防災行政デジタル無線（MCA無線）整備事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	防災危機管理課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	大津 真規			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	避難所等の施設、防災機関、自主防災組織・自治会等	意図	電話が不通となるような大規模災害時において、対象施設との音声通信手段を確保する。
事業内容	市役所防災行政無線室に指令局を設置するとともに、避難所等の施設や防災関係機関等に携帯局を配置する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成24年度に対象施設55箇所へ携帯局を配置した。また、平成25年度には45箇所、平成27年度には1箇所配置、平成29年度には3箇所配置し、合計104箇所の対象施設に配置した。 なお、配置済の施設等との間で定期的に通信訓練を実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	災害予防について安全だと思える人の割合	52.30	50.30	52	%	↑↑↑	まちづくり達成度アンケート結果
②	防災行政デジタル無線(MCA無線)配備箇所	101	104	105	箇所	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成24、25年度にかけて対象施設に無線機を配置した。また、平成27年度は、おおたかの森小・中学校に新たに1箇所設置した。 配置済みの施設等との間で定期的に通信訓練を実施するとともに、市及び各地域の防災訓練等において通信訓練を実施し、関係者全員が使用方法に習熟し、災害時に有効活用できるようにする。平成29年度には特別養護老人ホーム月の船、季の花、美晴らしの里に1箇所ずつ計3箇所新たに設置。平成30年度には、特別養護老人ホーム花のいろに設置した。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,863,520	1,293,160				
事業費(b)(円)			1,192,320	633,960				
うち一般財源			596,320	406,960				
職員給与費(c)(円)			671,200	659,200				
人役・職員(人)			0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	維持管理及び新たに福祉避難所に指定した施設にMCA無線の設置を行う。	③取組における課題(Check)	災害時に指令局との通信等ができるように、定期的な訓練が必要。
②H30に実施した取組(Do)	維持管理及び新たに福祉避難所に指定した3施設にMCA無線の設置を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	災害時に指令局との通信等ができるように、定期的な訓練を実施し、機器操作等の習熟を図る。